

「6.12事件」デッチ上げ「明らかに」

日刊 動労千葉

81.6.24 No. 773

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五(六)公衆(電)三三(七)七二〇七

転び屋・革マル分子嶋田誠のデッチ上げタレコミ告訴を暴く(その2)

われわれは、この間、『日刊』紙上において数回にわたって、動労「本部」反動分子が転び屋・革マル分子嶋田誠をつかってデッチ上げ・タレ込み告訴した「六・一二暴行事件」なるもの真相と彼らの狙いについて明らかにすると同時に、こうした権力へのタレ込み権力をつかった動労千葉破壊攻撃に対し、怒りを込めて糾弾し、断固として反撃することを明らかにしてきた。

そして、このわれわれの断固たる反撃によって動労「本部」反動分子と裏切り者土屋一派は、追いつめられ、つぎつぎと「六・一二事件」のデッチ上げ性、デタラメ性、反労働者性を自ら明らかにしている。

われわれは、この点を全組合員及び全国の動労組合員の前に明らかにし、「本部」反動分子の卑劣きわまりない反労働者性を暴き、怒りを燃やして総力で反撃に立つことをよびかける。

デタラメな事実経過で自己暴露

デッチ上げ「六・一二事件」のデタラメさ①
デマ「千葉地本情報」(No.65・6月13日付)によると「……約40名が動労千葉津田沼支部の事務所前でピケをやり、阻止する体制をとり、斉藤(吉)・嶋田・佐藤(次)、及び転勤者を取り囲み約15分にわたってナグル・ケルの暴力をふるい、全員が負傷した。……」となっている。

しかし、考えても見たまえ!!

// 動労千葉の組合員によつて暴行をうけ負傷させられたとデマ「情報」がさももつともらしくデッチ上げしているところの仙台からの帰任者が、現実には、その日のうちに直ちに快く動労千葉にすすんで加入しているのだ。そして、今日では津田沼電車区に配属された仙台・盛岡からの帰任者十二名のうち、いまだ心ならずも「本部」派に残っている者は、たったの二名にすぎないのだ。

しかも、この二名ですら、このような「本部」のやり口にはいや気をさして、動揺しているのが現状なのである。

一体、全体、// 自分が暴行をふるわれケガまでさせられた// というその組合に自らよこんで卒先して加入していくなどという人がいるだろうか?!

この全く単純で常識的な事実一つをとって見ても、彼らのいう「六・一二集団暴行事件」なるものがいかにデタラメなつくり話であるのかは明らかである。

デッチ上げ「六・一二事件」のデタラメさ②

さらに、デマ「東京(地本)情報」(No.32・6月13日付)によれば、デッチ上げ・つくり話にも念には念を入れよとばかりに「……集団で襲いかかって、物かげに連れこみ、……津田沼支部委員長・そして千葉地本斉藤副委員長に対し、集中的な暴力をふるい、……」などとして、「津田沼支部委員長」と「千葉地本斉藤副委員長」が同一の裏切り分子・斉藤吉司であることもおかまいなしに、一人でも多くの// 負傷者// をデッチ上げるために全くのデタラメな事実経過なるものを好き勝手に書

きつらねているのである。

さらに、ありもしない「暴行事件」を大げさにデッチ上げるために、「……物かげに連れ込み暴行……」など、ありもしない物// まで勝手にデッチ上げしているのだ。

津田沼電車区の構内の構図を知っている人なら誰でもこんなデタラメなつくり話はすぐバレてしまうのだ。

動労千葉の真相暴露に、あわてふためく「本部」反動分子

以上でも明らかのように、二つも三つもの事実経過のある「6.12暴行事件」なるものをデッチ上げ、「本部」反動分子自らそのデタラメさを暴露してしまっている。

その上、デマ「地本情報」(No.66・68)は、われわれの徹底した調査に基く真相暴露の前に全くあわてふためき、ついに、タレ込み告訴の反労働者性と権力一体となつた動労千葉破壊攻撃の事実をはしなくも自ら明らかにしているのである。

しかも、われわれの調査に基く事実経過の真相暴露にあわて、「……この件に関しては病院長と警察権力しか知らないはずのことなのに……」などと泣きごとをならべ、警察権力にいち早くタレ込んだことを公然と自ら認めているのだ。

事実、転び屋嶋田誠のところに船橋警察の刑事が見舞// に現われ、「告訴しなさい」と激励にいつているのである。そして、嶋田誠、斉藤吉司をはじめ「本部」反動分子と土屋一派は、タレ込み告訴し、船橋警察の事情聴取に積極的に応じ、わが動労千葉への不当な介入// 弾圧を// お願い// しているのである。

われわれは、こうした権力へのタレ込み告訴// 動労千葉への弾圧哀願路線に積極的にかみ込んだ動労「本部」反動分子と土屋一派を絶対に許さず、怒りの総反撃を一層強化しよう。総力で、六・二六反弾圧総決起集会へ//

6.26反弾圧総決起集会

日時// 六月二十六日十七時半
場所// 津田沼電車区
(各支部総力結集!)